飯盛山（紀の川市）（ハイライトシーン）　[実施日--2023年5月2日]

（メンバー）----計5名　　木村、楠部、中濱、岡本、有本

①（登山口　駐車場）

②（標識の補教--その1）

③（標識の補教--その2）

④（標識の補教--その3）

⑤（分岐点）

⑥（草刈り--その1）

⑦（草刈り--その2）

⑧（桂の谷--雄桂）

⑨（雌桂）

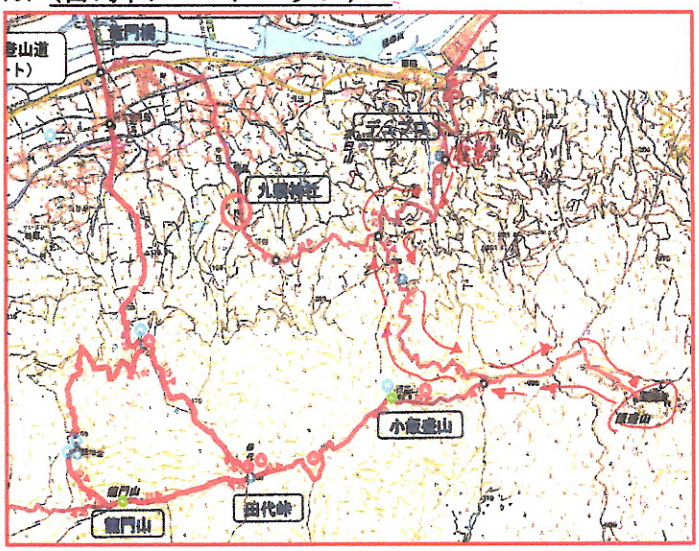
⑩（飯盛山　山頂）

飯盛山 746m（紀の川市）

※(山行日) ---- ２０２３年５月２日

※(メンバー) ---------計５名
木村、楠部、中濱、岡本、有本

※（吉野山ロードマップ）



※(行　程) [結果]

(山行).

① 登山口	----------	7:30
② 分岐点	----------	8:15
③ 飯盛山の分岐点	----------	9:30
④ 飯盛山	----------	11:00
⑤ 飯盛山の分岐点	----------	12:30
⑥ 分岐点	----------	13:15
⑦ 登山口	----------	14:15

(キイ飯盛山)

・飯盛山は西側にある龍門山から伸びる龍門山脈に属し、山頂には南北朝時代の山城、飯盛山城があった山で、南北朝時代には立て籠もった北条高時一族の佐々目憲法が、楠木正成軍と３ヶ月間にわたって合戦を繰り広げたという。

(紀伊飯盛山城)

・建武元年(1334年)北条高時が築いて佐々目憲法が籠もったのが始まりという。

・天正９年(1581年)織田信長による高野山攻めのときに高野山衆徒が飯盛山城に籠もったとも云われる。

紀峰山の会　(弥生班)

※[はじめに]

○紀峰山の会５０周年イベントとして飯盛山の整備を行っており、弥生班としても今年度２回の計画をした。

○今回は１回目であり、6/4のクリーンハイクの前に下見を兼ねて実施し、標識チェックとルート誘導のテープ補修や危険個所のチェック(赤テープ貼り)、若干の草や雑木の整備を行いながらの山行を行った。

○７時３０分、登山口から剪定ばさみや鎌を持ちメンバー５名で出発。若干の作業を行ったため、飯盛山山頂へは計画より１時間遅れの１１時到着。山頂で休憩後、若干の草刈りを行い下山。１４時１５分登山口へ到着し、地元の店で反省会を兼ね昼食後、帰着した。

(写真 1)　(7:30　登山口駐車場)

(写真 2)　(標識の補強-その 1)

・標識が目立つように赤テープを貼る。

(写真 3)　(標識の補強-その２)

・標識の字が薄く判りづらいため、マジックで補強する。

(写真 4)　(標識の補強-その３)

・標識が傾いていた箇所があり、踏み固め石で補強する。

(写真 5)　(農道を歩く)

・本日は晴天

(写真 6)　(8:15 分岐点)

・

(写真 7)　(草刈り—その１)

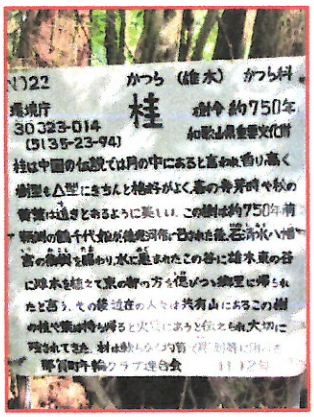
・途中の通路を塞ぐ草刈りを行いながら進む。

(写真 8)　(草刈り—その２)

・標識が隠れないように草刈りを行う。

(写真 9)　(桂の谷---雄桂)

(写真 10)　(雌桂)



(看板の解説内容)

・桂(雄桂)樹令約 750 年、和歌山県重要文化財。桂は中国の伝説では月の中にあると言われ、香り高く樹型も△型にきちんと格好よく、春の発芽時や秋の黄葉は透きとおるように美しい。この樹は約 750 年前、鞆淵の鶴千代姫が後堤河亭に召された後、石清水八幡宮の御輿を賜り、水に恵まれたこの谷に雄木、東の谷に雌木を植えて京の都の方を偲びつつ郷里に帰られたと言う。その後、近在の人々は共有山にあるこの樹の枝や葉は持持ち帰ると火災にあうと伝えられ、大切に残されてきた。材は軟らかく均質で彫刻等に用いる。

(写真 11)　(11:00　飯盛山　山頂)

(写真 12)　(山頂で休憩)

・汗をかいた後の一杯は最高!!

(写真 13)　(山頂での草刈り)

(写真 14)　(下山)

・紀の川をバックに飯盛山を和み惜しむ。

※[最後に]

・当日は晴天で快適であったが、ところどころ地面が滑っており木の根っこや突起物があるため、今後の整備イベントでは注意が必要。桂の谷の 2 本の桂の木(雄桂と雌桂)は見応えがあり、途中、マブシ草等色々な植物も観賞でき、適度な汗で爽快感のある山行となった。